

☆ 年末年始の外来診療のお知らせ ☆

年末は12月30日(金)朝診まで通常どりの診察とさせていただきます。
また年始は1月4日(水)の朝診より開始いたします。
休診中も急病の場合は診察可能です。ただし、通常の診療体制とは異なりますので、事前にお電話をいただきますようお願い致します。

2011年 12月 30日(金)	31日(土)		
朝診	○	休診	
夜診	休診	×	
2012年 1月 1日(日)	2日(月祝)	3日(火)	4日(水)
朝診	×	×	休診 ○
夜診	×	×	休診 ○



☆ インフルエンザとかぜの違い ☆

インフルエンザの予防接種を打ったのにかぜをひいたと聞きますが、インフルエンザとかぜは別のものであります。

インフルエンザは法律で定められた感染症

インフルエンザは、法律(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)で「五類感染症」に定められています。

症状の違い

風邪は様々なウイルスによって起こりますが、普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。

一方、インフルエンザは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。お子様ではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では肺炎を併発する等、重症になることがあります。

インフルエンザの感染形態

通常の「かぜ」(感冒)のウイルスの感染形態は(かぜウイルスのなかでも最も多いライノウイルスの場合)特に手から手による接触感染の頻度が高いといわれています。

それに対して、インフルエンザウイルスは患者のくしゃみや咳、痰などで吐き出される微粒子(飛沫)を介して感染する「飛沫感染※」が中心です。



※飛沫感染とは
くしゃみや咳に含まれるウイルスがそのまま、あるいは空気中に浮遊しているうちに他の人の呼吸器に吸い込まれる感染形態。

インフルエンザにかからないために…

インフルエンザを予防する方法としては、以下があげられます。

1) 流行前のワクチン接種

インフルエンザワクチンは、かかった場合の重症化防止に有効と報告されており、わが国でも年々ワクチン接種をする方が増加しています。



2) 外出後の手洗い等

手洗いは手指など体に付着したインフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。また、外出後の手洗い、うがいは一般的な感染症の予防のためにもおすすめます。



3) 適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。特に乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。

4) 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。

5) 人混みや繁華街への外出を控える

インフルエンザが流行してきたら、特にご高齢の方や基礎疾患のある方、疲労気味、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず外出をして人混みに入る可能性がある場合には、ある程度の飛沫等を防ぐことができる不織布(ふしよくふ)製マスクを着用することはひとつの防御策と考えられます。ただし、人混みに入る時間は極力短時間にしましょう。



※不織布製マスクとは
繊維あるいは糸等を織ったりせず、熱や化学的な作用によって接着させて布にしたもので、市販されている家庭用マスクの約97%が不織布製マスクです。

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します

「患者さまの権利」

- 患者さまには次のような権利があります。
私たちはその権利を尊重するような医療を行います。
- ・ 医療を受ける権利
 - ・ 知る権利
 - ・ 自分で決定する権利
 - ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院